



もがみ

平成23年

2011

No.720

3月

東北地方太平洋沖地震において、
被災されたみなさま方にお見舞い申し上げます



3月11日金曜日の午後2時46分頃に発生した東北地方太平洋沖地震。

翌12日、友好関係にある大船渡市から防災無線戸別受信機の物資支援要請があり、乾電池や食料・水と一緒に大船渡市近くの中継所まで運びました。

■ 今月の主な内容

東北地方太平洋沖地震 P.2 健康福祉課からのお知らせ P.4 情報インフォメーション P.5

今月号は、東北地方太平洋沖地震の影響により紙面の内容を一部変更しておりますので、ご了承ください。

三月十一日、午後二時四十六分頃、三陸沖を震源地に発生した国内観測史上最大規模となった今般の大地震は、東日本一帯での連鎖発生という異常事態となり、数多くの尊い人命と貴重な財産を瞬時に失う未曾有の大惨事となりました。

また、四十万人を超える方々が、避難生活を余儀なくされており、胸が締めつけられるような思いでおります。被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

本町では地震発生後、直ちに「最上町東北地方太平洋沖地震対策本部」を設置し、区長さんをはじめ消防団、民生児童委員等のみなさんと協力して被害状況の把握にあたったほか、水道水や電気等のライフラインの復旧・確保にむけて全力で取り組んできたところです。

しかしながら、今般の大地震による被害の爪痕は誠に甚大であり、被災地のみならず広い範囲にわたり、灯油やガソリン等の燃料をはじめ食料品や医薬品等が不足するするなど、町民のみなさんの生活にも大きな影響が出ております。

当対策本部では、生活関連物資の確保をはじめ、被災地への義援金や救援物資等による支援、さらに町内での避難所の開設・運営等に全力で取り組んでまいりますので、町民のみなさんにおかれましても、分かち合い、譲り合い、助け合い、支え合いの精神のもとに、この難局を乗り切っていただきたく、お願い申し上げます。

平成二十三年三月

最上町東北地方太平洋沖地震対策本部

本部長 高橋 重美

被災されたみなさんのため

町では3月15日、東北地方太平洋沖地震義援金の募金箱を役場病院、高齢者福祉センターに設置し、受け付けを開始しています。また、毛布、タオル、紙おむつ、トイレットペーパー、カイロの未使用品と使用できるラジオを救援物資として中央公民館、最上病院、高齢者福祉センター、大堀地区公民館、富沢小学校で受け付けています。義援金と支援物資の受付時間帯は、午前9時から午後4時までとなります(詳細は、最終ページに掲載)。

翌16日、被災された方の避難所を中央公民館に設置し、24時間体制での受け入れを実施しています(3月17日現在)。

現在、役場には被災された方々に対し温かい善意の気持ちが多数寄せられています。今後町では、被災者の支援に全力をこめて臨んでまいります。

町民のみなさんも、節電や物品は必要な分だけ購入するなど、できることからお願いします。

地震発生……

3月11日(金)午後2時46分頃、三陸沖を震源地とするマグニチュード9.0(当初8.8)の巨大地震(関東大震災はマグニチュード7.9)が発生しました。当町では震度5弱を記録。地震発生時から停電となり、テレビはもとよりヒーター等の家電製品、電話が使えなくなりました。

地震発生後、町長を本部長とする地震対策本部を3時に設置。1時間ごとに対策本部会を開催



▲町内で一部断水が発生し、水道の復旧と給水作業にあたりました

し、情報の収集、パトロールによる被害状況の確認、水道、下水処理等のライフラインの確保に全職員挙げて取り組みました。けが人等の人的被害については今のところ報告はありませんが、旅館のガラスが割れたことや工場の天板の落下などの物損被害がみられました。また、停電のため温度管理ができない農作物の被害が確認されています。

町民への情報提供は地震による停電のため防災無線に限られました。放送では、余震への注意喚起、断水のお知らせ、消防団による見回りパトロール、被害状況の報告、節水の呼び掛け等の情報を提供してきましたが、同日午後8時20分、各集落にある防災無線の子局が停電によりバッテリーの電池がなくなる状況が発生したため、火災予防の注意喚起の放送が最後となりました。

町内全域で停電が解除されたのは、12日午後7時頃でした。同日の夕方、友好関係にある岩手県大船渡市から、物資支援の要請が届きました。すぐに防災無線戸別受信機と乾電池、食料や

水等を集め、中継点の岩手県矢中町まで運んでおります。地震発生以降、ガソリンや軽油等の燃料不足により物流が滞っています。通勤・通学はもとよりごみの収集などにも影響が及び、JRも3月17日現在、運行の目途がたつていません。今後も町では災害時の見回りや連絡、情報収集等に務めてまいります。



▲町内でパトロールした結果を各分団長が対策本部に報告